令和８年度第１回あわら市郷土歴史資料館運営協議会会議録

日　時：令和８年５月 27 日（水）
午後１時 30 分から
場　所：あわら市役所　２階
203 会議室

（次第）
1. あわら市郷土歴史資料館運営協議会委員　委嘱状　交付

2. 教育長　あいさつ

3. 議題
（１）あわら市郷土歴史資料館運営協議会委員長の選任について

（２）令和７年度郷土歴史資料館事業の報告について

（３）令和８年度郷土歴史資料館事業の計画について

4. その他

（出席委員）
水野　和雄　　吉田　純一　　長野　栄俊
宇都宮　高栄　　能美　進　　番匠　裕美子
（欠席委員）
瀬戸　暢代
（事務局）
あわら市教育長　甲斐　和浩　　文化学習課長　永岡　康孝
資料館館長　九千房　英之　　資料館館長補佐　橋本　幸久
資料館学芸員　吉田　紺碧

【あわら市郷土歴史資料館運営協議会委員　委嘱状　交付】
【教育長　あいさつ】
（1.　あわら市郷土歴史資料館運営協議会委員長の選任について）
事務局：委員から推薦等はあるか。

委　員：事務局一任でお願いする。
事務局：能美先生にお願いしてもよろしいか。
委　員：異議なし。
事務局：それでは能美先生に委員長をお願いする。では、委員長から副委員長の指名をお願いする。
委員長：水野先生にお願いする。
事務局：水野先生に副委員長をお願いする。以降の進行は能美委員長にお願いする。

（2.　令和７年度郷土歴史資料館事業について事務局より報告）
委　員：第３回ふるさと講座について、細呂木関所はわかるが細呂木宿はどこなのか。
事務局：細呂木関所から南に歩いて突き当りを西に曲がる、また突き当りを南に曲がって細呂木神社までが細呂木宿と考えられている。
委　員：その他のレプリカ作成について、本荘春日神社棟札の文字はどのように印刷しているのか。
事務局：国京先生から写真を提供してもらい、それを貼り付けた。
委　員：寄贈寄託などが〇件という表記のみになっているが、詳細は残しているのか。
事務局：データで保存している。今後年報にも写真等を載せて公開しようと考えている。
委　員：年報は一般に公開されるのか。
事務局：前回指摘があったので、これまでのものはホームページ（以後、HP）ですでに公開している。
委　員：職員がどのようなことを専門にしていて、どういった活動を行ったのかを年報に載せてほしい。また、外部の先生に見てもらった際にはその結果を記してもらえるとなお良い。
事務局：検討する。
委　員：年報について、冊子化できるように予算を獲得する必要があるのではないか。
事務局：現在はHPでの公開のみで問題ないと考えているが、必要があれば当館で印刷して提供するつもりである。
委　員：イベント情報について、年間スケジュールとしてまとめてパンフレットにしないのか。
事務局：年間スケジュールについてもHPですでに公開している。パンフレットにするかは今後検討する。
委　員：イベントスケジュールを小学校に送る施設もいくつかある。作るのが大変であれば年間ではなく３・４か月分のイベントスケジュールを作るのはどうか。
事務局：検討する。
委員長：現在狛犬を展示していると思うが、今後あのように学芸員が興味のあるものをたくさん展示していけばいいのではないか。また、本陣飾り物ギャラリーも現在５点展示して

いるが、半分にして新しい展示スペースを確保すればいいのではないか。
事務局：検討する。
委　員：ミニ展示などは図録を出していないと思うが、その報告のようなものは出しているのか。
事務局：企画展であれば解説シートを作成しているが、ミニ展示では行っていない。
委　員：どういった展示を行って何人来館したのかなどダイジェスト版にして、それを年報に書けばより充実したものになるのではないか。
事務局：検討する。
委　員：やはり報告物は印刷したほうがいいのではないか。
委　員：印刷物について、県の方では刊行物が PDF になっている。福井県文書館でも以前は年報を紙で出していたが、最近は PDF でしか出さなくなった。ただ他の委員がおっしゃるとおり、紙でないとアクセスしずらい方もいると思うので、あわら市内の図書館や福井県立図書館にだけでも印刷したものを置いてもらい、なるべく多くの方に見てもらえるようにする必要はあると思う。また、資料館 HP を見るとこれまでの年報が蓄積されていて内容も充実してきているのはとても良いと思う。そのほか、PDF 化して浮いた予算は他の広報など効果的なものに分配していくのが良いと思うが、小学校などにはチラシを配っているのか。
事務局：配っていない。
委　員：こども歴史文化館では、福井県内の学校に配る際には、年度始めに対象となる学校について一学年で何クラスあって何人いるかなどを把握して、先生方がそのまま配れるようにして送っていた。学校側も忙しいので、それぐらいしないと対応してもらえないことも多いが、やってみるのも良いかと思う。
委　員：HP について終わった展示がトップページに出ているが何か意味はあるのか。
事務局：基本的には終了すれば消すことになっているので、担当に確認しておく。
委　員：今回のテーマ展「あわらの近代」であれば、資料は全部館蔵品だと思う。そうであれば、キャプションなどすべて展示終了後も載せておけばいいと思う。そうすれば、調べ物をしている人に見てもらえるかもしれない。特別展など他館から借りてくる場合には難しいと思うが、なるべく載せないといけない。今はインターネットに載っていないと収蔵されていないのと同じ。
事務局：サーバーのデータ容量の関係もあるが、企画展は過去５年分は HP に載せている。解説シートについては今後もすべて載せるつもりである。キャプション等についてはテーマ展であれば可能か学芸員内で検討する。

（3. 令和８年度郷土歴史資料館事業計画について事務局より報告）
委　員：公式インスタグラムを見ているが、イベント情報が終了後のことばかり投稿されている。開始前にもイベント情報を流して参加者を募集することも必要ではないか。

事務局：そのようにする。
委　員：ふるさと講座について、３回とも内容が全部ばらばらに感じる。また、この時期になればテーマも仮称では駄目。このテーマで話してもらえるように交渉する必要がある。
事務局：ふるさと講座の内容については、あわら市に関連することを共通項とし、仮称で示している内容で講師にはお願いしている。
委　員：テーマが仮ではなくて、タイトルが仮ということか。
事務局：そのとおりである。
委員長：福井震災や北前船などがテーマとなっているが、もう少しあわら市に絞ったものにならないのか。
事務局：あわら市だけでお話してもらうことは講師であっても難しいと思うので、大きい枠組みのテーマでお願いしている。
委　員：講師の方も参加者数は気にされると思うので、依頼する際にはもう少し一般の方が興味を持ってもらえそうなテーマでお願いしないといけない。
事務局：そのようにする。
委　員：常設展示の見直しについて、まだ模型は直さないのか。
事務局：予算の関係もあるので検討する。
委　員：字限図を公開してほしい。
事務局：あわら市では税務課で保管している。ただし地域によって作成年代も異なる。
委　員：福井県史に条里復原図があるのでそちらを参照されるのが良い。
事務局：申し出があればあわら市でも税務課でコピーできる。一部資料館にもあるのでこちらも申請があれば公開している。
委　員：神宮寺城の赤色立体地図はあるのか。
事務局：ある。あわら市内は基本作成されている。

（4.　その他）
委　員：特になし。
事務局：ないようなので、これにて議事を終了する。